

第2回 草津市総合教育会議 議事録

令和3年2月26日開催

草津市役所 8階大会議室

| | | |
|------|------------------------|--------|
| 出席者 | 草津市長 | 橋川 渉 |
| | 草津市教育委員会 | |
| | 教育長 | 川那邊 正 |
| | 委員 | 稲垣 明美 |
| | 委員 | 松嶋 徹也 |
| | 委員 | 小辻 寿規 |
| 事務局 | 教育部長 | 居川 哲雄 |
| | 教育部理事（学校教育担当） | 畑 真子 |
| | 教育部副部長（総括） | 南川 等 |
| | 教育部副部長（学校教育担当）兼 学校教育課長 | 作田 まさ代 |
| | 教育総務課長 | 森下 康二 |
| | 児童生徒支援課長 | 竹田 敏彦 |
| | 学校政策推進課長 | 上原 忠士 |
| | 教育研究所長 | 藤井 泰三 |
| | 学校政策推進課課長補佐 | 辻 大吾 |
| | 教育総務課課長補佐 | 門脇 弦太 |
| 小中学校 | 志津小学校長 | 中村 真理子 |
| | 志津南小学校長 | 水野 晃 |
| | 草津小学校長 | 高井 育夫 |
| | 草津第二小学校長 | 角 玲子 |
| | 渋川小学校長 | 清水 康行 |
| | 矢倉小学校長 | 大林 道範 |

| | |
|---------|---------|
| 老上小学校長 | 山 崎 賢 |
| 老上西小学校長 | 京 近 武 史 |
| 玉川小学校長 | 小野澤 祐 子 |
| 南笠東小学校長 | 西 村 洋 |
| 山田小学校長 | 南 喜 普 |
| 笠縫東小学校長 | 松 宮 孝 明 |
| 常盤小学校長 | 古 谷 匠 |
| 高穂中学校教諭 | 宮 川 実津雄 |
| 草津中学校教頭 | 柴 原 力 |
| 老上中学校長 | 姫 野 健 |
| 玉川中学校長 | 江 竜 眞 司 |
| 新堂中学校教頭 | 北 村 将 |
| 松原中学校長 | 高 田 聡 |

開会 午後3時00分

橋川市長

皆さんこんにちは。本日は、お集まりいただきましてありがとうございます。これより、草津市総合教育会議を開催いたします。

本日の会議は、各学校の表彰、受賞等に係る報告会ということで、各校から発表をいただきます。皆さんと意見交換をして、より実りある会議にしていきたいと考えております。

それでは、進行は事務局にお願いします。

教育部理事

ただいま市長から委任いただきましたので、ここからは事務局が進行させていただきます。本日は、今年度に特色ある教育実践をされ、表彰等を受けられました学校の取組について報告をしていただきます。なお、発表は1校当たり、大変短い時間で申し訳ありませんが3、4分以内で御報告をお願いいたします。また2、3校ごとに4つのグループに分かれておりますので、各グループの報告の後、市長、教育長、教育委員の皆様からの御質問をいただくお時間を取りたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、早速ではございますが発表に移らせていただきます。初めに、一つ目のグループの3校から発表をお願いいたします。志津小学校からよろしく申し上げます。

志津小学校長

それでは、これから志津小学校の取組について発表します。本校の学校目標は、教職員や子どもの誰もが知っている、この三つの目標です。この目標に従って、取組を報告します。

人に優しくなるとうとする取組の成果として、今年度はお話を絵にするコンクールで学校賞、県知事賞、児童絵画指導者賞を受賞しました。積極的に作品応募に出品することで、貯金箱コンクールを含め、このようなすばらしい賞をいただくことができました。美術教育を得意とする教員チームが若手にアドバイスを送りながら作品づくりを行うという風土がこうした結果に結びついたのではないかと考えています。

自分を高める取組についてです。漢検協会より優秀な成績を収めた学校に贈られる奨励賞をいただきました。賞をいただいたのは、今年度ですが、昨年度の実績をもとに選んでいただい

ています。そこで、今年度も連続して受賞ができるように学校一丸となって取組を進めてきました。初めて漢検を受ける4年生には受検の意義についての説明会を開いています。また、学校だよりで検定の情報を低学年の保護者にもアピールしています。市が補助金を出してくれているということについても理解を進めているところです。校内には、子どもや教職員がすぐに使える漢検のプリントを常設し、誰でもいつでもすぐに使って学べるようにしています。今年はタブレットで漢検アプリを活用して皆でがんばりました。

最後に、みんなのために役立つ取組として、本校の特色であるけん玉活動について紹介します。今日はけん玉マークのついたマスクとマイけん玉を持ってきました。8年前から取組が始まったけん玉活動ですが、今年度はコミュニティ・スクールやまちづくり協議会とも連携して取り組むことができました。市の教育奨励事業においても、最優秀賞を受賞することができました。けん玉活動に対する子どもの満足度は97%。保護者の皆様の理解度も90%を超えています。それでは最後に、本校のけん玉活動のニュースを見ていただきます。

(ビデオ視聴)

以上です。ありがとうございました。

教育部理事

ありがとうございます。それでは、志津南小学校よろしくお願ひします。

志津南小学校長

志津南小学校コミュニティ・スクールの取組SOSプロジェクトを紹介いたします。表彰を受けたとか、そういったものはございません。うち独自の地道な取組です。もともと志津南おかえりストリートというような名前をつけていましたが、よりインパクトがあり、わかりやすくということで、SOSプロジェクトといたしました。プロジェクトが生まれた背景ですが、コロナで非常に夏休みが短縮されました。そんな中、本校の子どもたちの7割ぐらいが猛暑の中、1時間弱かけて、登校あるいは下校していくということで、これは子どもたちの健康・安全が心配だということで、熱中症対策として何とかならないかなと思っていたわけですが、なかなか学校だけの力では難しいということで、6月の学校運営協議会で悩みを打ち明けました

ところ、是非私たちで方策を立てて、子どもたちを守ろうということで、子ども110番のような、そういった形が何か取れないものかということで、子どもたちの気分が悪くなった時に立ち寄れる場所や施設を用意してはどうかと提案いただきました。それぞれPTA、まち協、学校でできることはなんだということで、PTAの方では、早速、PTA会長さんを中心に、立ち寄れる施設の方をリストアップしてもらいました。それから、まち協の方は、協力施設に建てる目印になるようなものを作ってあげようということ。デザイン制作やお金は任せてくれと言ってくださいます、これはありがたいと思いました。学校の方はその取組を子どもたちや地域、保護者の方に知らせていこうということで、こうした学校やPTA、地域が協働して子どもたちを守る体制を作ることができました。具体的なPTAの取組としては、ここに書いてあるように協力施設をすぐに14施設リストアップしていただきました。そして、早速、教頭とともにお願いに行って14施設すべて御賛同いただきました。非常にありがたいことです。また学校は、施設内に掲示するポスター、そういったものを作ってお願いに行ったり、そしてまち協の方はこの右側にありますのぼり旗ですが、センター長さんが中心になって、デザイン、費用、それから業者の交渉をやってくださいました。本当に助かりました。なかなか学校ではできないことです。完成したのぼり旗を持って施設の方にお願いに行きました。セブンイレブンやスターですね、スターの方では、わざわざ独自のポスターを作って掲示してくださいました。学校の方はこういった掲示物を使って子どもたちに説明をして、安心して帰れるよ、大丈夫だというふうに説明をしたところでございます。広報啓発活動といった形で、ホームページや京都新聞、NHK放送局といったところで地域のニュースに流していただきました。

取組の成果ですが、結局2ヶ月間行いましたが、立ち寄った子どもは0人でした。これは何よりの成果ではないかなと思っております。保護者や協力施設からは大変ありがたい声をいただきました。取組を通して学校、家庭、地域の信頼関係をさらに強いものにすることができたということ、それからまた、コミュニティ・スクールとしての活動意義をみんなが再認識することができたということです。今後も地域の連携を基盤に、創

意工夫ある取組を推進していきたいなと考えているところで
す。以上でございます。

教育部理事

ありがとうございました。それでは、3番目の発表をお願い
いたします。草津小学校よろしく申し上げます。

草津小学校長

失礼します。草津小学校高井でございます。本校からは、G
I G Aスクールを活用した読み解く力の向上ということについて、報告させていただきます。

今年度、新型コロナウイルスに大変苦しめられましたが、学
校としてよかったこと、これはやはりタブレット1人1台配布
をしていただいたということが非常に大きかったと思っております。本校はこれまで、滋賀県が提唱しております読み解く力
というものをテーマにしながら校内研究を進めてきています。
特にこの三つの黄色で括弧をしているところについて、G I G
Aスクールでいただいたタブレットをどういうふうにするのか
ということの研究しながら進めてまいりました。これは公開研
究会で検討している様子でございます。これまでG I G Aスク
ールの整備に先立ちまして、草津市ではI C Tの整備をずっと
進めてきていただいています。ソフト面、ハード面、いわゆる
国が提唱しているG I G Aスクール構想が完成したということ
になります。ただ、ソフト、ハードを使える教師がいなけれ
ば、結局、授業にはならない。日常的にI C Tを活用できる指
導體制をいかに整備していくかということが、今後草津市全体
で問われることだというふうに考えております。本校は他の校
に比べても早くタブレットP Cを配布していただいたので、学
校として「1人1台来たなら何が変わるのか」、「どんなことが
できるのか」ということを検討させていただきました。こちらか
ら赤で書かせていただいているところは、これまでの3人に1
台の環境の中で実現できる授業内容でございました。向かいの
黄色があるところが1人1台整備されたときに、「どんなことが
新しく拡張してできるか」ということを校内で検討した内容で
す。そしてこれを使って、新たな草津型アクティブラーニング
を創造できないだろうかということで、9月から2月まで取り
組んできたところでございます。例えば、これは5年生の授業
ですが、向こうにある写真はいつものとおり、タブレットを使

って発表している様子です。この男の子が見ている画面は、実は今まで自分が学習してきた算数の前期までのノート。それから板書の様子、それらを記録して、ここで読み出しながら、前の学習がどうだったかということ振り返って、課題に取り組んでいる様子です。このように、1人1台であるということが、今までの学習の記録を保存し呼び出すことが大変安易にできるようになっています。それから、1年生の学習の様子ですが、今年度ちょっとインターネットの不具合がいくつか起きました関係で、いわゆるAir Dropを使って情報の公表をすることが可能になりました。それから、2年生ですが同じくAir Dropを使っているところですがこのときは教師が不具合を起こしたので子どものタブレットに送って、共有するということことができました。それから、ここで学習した内容をプログラミングで再構築し、そういうことも2年生でやっております。ほとんど低学年の学習でこういうことが可能になっています。1年生もみんなドリルで学習の構築を進めております。1年生、2年生も机の中には1台、朝に来たらタブレットが入っている状況です。一番大きかったのは4年生のTeamsを使って、それぞれの学習内容をカルテとして保存できるということが見つかったということです。情報を送ったり、子どもから情報を返してもらったりして、自分の学習を整理することが可能になりました。また、全員のタブレットに一つしかない資料を送って、それを検討することも、この1人1台の環境の中で可能になってございます。このように、多くの学習の変化がこれから望めるのではないかということを感じております。この配備、大変ありがたかったと思っております。以上でございます。

教育部理事

ありがとうございます。それではただいまのグループ3校の報告につきまして、皆様から御質問や、何か御意見等ございましたらお願いいたします。松嶋委員お願いいたします。

松嶋委員

1校ずつ話していきたいと思いますが、まずは、志津小。新聞を全部読むのに漢字を1000字読む力が必要でして漢字を読んだり書いたりする力は大人になっても情報を収集する際に、すごく必要になってきますので、この取組は必需的かなと

思いました。英語の教育も進んでいるところもありまして、こういった英語教育も必須かなと思いました。

志津南小ですね、8月、コロナの影響で夏休みが短縮されて1時間弱の登下校は自分も保護者としてすごく心配しているところではありますがそういった対策を取られているということは保護者としては安心感しかありません。良い対策を取られていたなと思いました。学校も家庭も地域も連携していくということが重要ではないかというふうに思います。

草津小学校の中で、Air Dropを使ってということですが、この辺りはもちろん、ネット環境が悪かったときにはAir Dropを使って共有という手段は理に適っているとは思いますが、環境を構築されていて何かしらのサーバーといいますか、こういう形式のファイルはここに置いておいて随時、そこから取り出すという形にすればAir Dropをいちいち送信する手間を省けると思いますのでそういったところで効率化していけるところはあると思いました。以上です。

教育部理事

ありがとうございます。他にいらっしゃいますでしょうか。お願いします。

小辻委員

志津小学校は、美術の得意な先生方がいろいろ教えてくださる取り組み非常に素晴らしいですね。そこで学ばれた若手の先生が今後また別の市区町村の学校に移動された際も、草津で学ばれたことを広めていただける非常にありがたいと思います。できれば草津でも美術以外の学びでも同じ取り組みを進めていただけるとありがたいかなと思います。

SOSプロジェクトで、志津南小学校はコミュニティ・スクールや地域の方々がこんなに関わっていただいたということは、今回コロナで危険に感じたり、支えなくてはと思った人がいたということですね。支えなくてはと思った方々がこういうふうにしてくださったおかげだと思いますし、今後もより地域や学校と連携していただけるとありがたいかなと思います。

Air Dropは便利なので私も良く使うのですが、Windowsは使えなかったりするので、Macを学校にも導入というのが個人的感想でございます。それも含めて様々なデバイスを使えるようにそういう力を養ってもらえたらなと思いま

す。

教育部理事

もうあと3分ぐらいですが、いかがですか。

稲垣委員

どの学校さんもいろいろなことをされていて、志津小学校、志津南小学校については、地域、学校、PTAの連携が強く感じられてよかったなと思います。志津小学校の表彰は秋の展覧でもたくさん優秀のシールが貼ってありましたので、その成果は確かにあったと思いました。

それから、草津小学校で教師を育てているとおっしゃって毎年、他の市からも来ますので、年が変わる毎に先生も入れ替わります。そんなときに教師を育てているということが一番に子どもたちへの力をつける人だと思いました。

川那邊教育長

どの学校も、校長先生のリーダーシップに感心していました。その中で1点だけ。草津小学校の高井校長先生にお尋ねしたいのですが、タブレットを使った実践は全国でもトップといえるくらいだと思います。そのような実践を生み出す校長先生がリーダーシップを発揮されるまでの情報源や、教員がどのようにして推進するものを持ってきているのか、そのあたりを教えてくださいたいです。

草津小学校長

今年、新しく入った教員が何人かいます。その教員もずっとiPadを使っていたり、本校でも何人かiPadを使っていた教員がおりました。導入された機種は使い慣れていたこともあって、こういう使い方ができるよということを最初から出していたのですが、iPadが導入された後に、各学年から得意な教員を1名ずつ選んで、それぞれでどんな使い方ができるか研究してみようかという組織立てをしました。それから放課後こういうことできるということをお互いに情報共有しながら、学年の中に広げていくという動きが出てきたので、今、誰もが活用できるということが一つ。それから校内研修主任が、新しい使い方について収集したデータを校内ニュースという形で毎週、配ってくれているので、それぞれが試してみるとか、やってみようということで取組が進んでいった結果、今ほとんどの教員が一定レベルで使えるという環境が整ったというふうに考

えております。

橋川市長

まず志津小学校ですが、けん玉は集中力や我慢強さが身につくのでこれまでの伝統を継続していただきたいなと思うのと、それから、工作とか映像の表彰も受けておられていますが、若手のそういう研修の場があるということですが、若手に何か特徴があるからそういう研究会があるとか、全体の研修も必要だと思いますが、あえて若手ということに何か意図や思いがあるのかというところをお尋ねしたいです。

志津南の方ですが、地域やPTAを挙げてのすばらしい取組だと思います。大人の安心、保護者の安心、先生方の安心もあると思いますが、子どもが実際には利用しなかったが、いざというときは救ってもらえるのかとそういう声があるのか、子どもの環境を知りたいです。

草津小学校のGIGAスクールですが、何か市に対して予算要求も含めて、更なる要望はないのか教えていただきたいと思っています。

志津小学校長

志津小学校の若手の件ですが、働き方改革も考えないといけないので、会議や研修ばかり増えてもいけないというふうにみんなで話し合ひまして、学年主任や教務などの学校の柱となっている教員が運営委員会という会議をしている裏で、運営委員会に出ないものがみんな若手ということで、自分たちでやりたい研究を年間考えて進めています。そのため、運営委員会にでているものだけ会議が増えるというふうな気持ちにもなりませんし、若手もその時間に時間をもらっているという気持ちにもなってくれているので、うまく進んでいると思います。

橋川市長

他の学校も取り入れてもらえたらいいですね。

志津南小学校長

志津南小学校ですが、直接子どもたちから感想を聞いたということはないですが、ゼロだったということで、私たちが考えているのは、おそらくこういうような取組をするよということ子どもたちが知ったことによって、子どもたちも自分の健康、安全を守るという意識が高まったと思います。そのことによって、寝ること食べること、あるいは水分補給をするという

ことについて子どもたちが自覚を持って取り組んだ。その結果、ゼロというような成果が出たと思っております。子どもたちは声には出しませんが、そういう意味での成果が挙がり、安心して帰ることができてよかったなと思っておりますのではないかと思っております。

草津小学校長

学校としては、予算で何とかしてやろうと言っていたで大変ありがたかったというふうに思っております。おそらく、今後、機器の更新とか修理とか、そういったお金が発生してくると思うのですが、できましたら、これはもう草津市の大きな強みとして、今後も継続していただけるとありがたいと思います。以上です。

教育部理事

ありがとうございました。それでは、次のグループに進みたいと思います。草津第二小学校からよろしく願いいたします。

草津第二小学校長

失礼いたします。草津第二小学校でございます。どうぞよろしく願いいたします。本校からは、取組として、人権教育の取組と、オンライン授業のことについてお話をさせていただきたいと思います。

人権教育は、本校の取り組む大事な核となる学習の一つですが、いろいろな視点から、人権教育を進めております。その中の人権の花運動の取組と人権週間のことについてお話をさせていただきたいと思います。本校の教育目標として、自ら考え、進んで行動する子どもというところで、とりわけ「思いやりとありがとうの心で」という合言葉で、地域の子どもたちの心の育成を考えているところです。そんな中、取り組んでいるのが、人権の花運動の取組です。元々、小さな花が寄って一つの花になるサルビア。そのサルビアを種から育てて、その苗を昨年、駅前で配布させていただいて、そして校内のプランターに花を咲かせるという一連の活動です。高学年の子どもたちの委員会を中心に進めてきた活動ですが、地域の皆様方にも協力をいただきながら、自分たちが実際に進めることで発信していく、机上の学習が多い中、自分たちが主体的に取り組み、また校内の配布、家庭や地域そして一般の知らない人に声をかけて

いくという啓発的な運動を自分たちがやっていく取組は、大変価値があり、意義のある活動だと考えています。残念ながら今年度は駅前の配布ができませんでしたが、これからもいろいろなところに発信をしていくという取組を続けていきたいと思っています。この1年もそうですが、11月に思いやり集会というのを取り組みました。従来ですと、体育館に全校が集まり活動するわけですが、今年度はそれぞれの教室の中、お世話になった人権擁護委員の方に来ていただきましてそこでいろいろメッセージを頂戴しました。週間ということもありましたので、それまでにもいろいろな学習の取組を行いました。これからも地域の人とともに育てていきたいと考えます。

続いて、臨時休校におけるオンライン授業ということで、本校は3度の学校閉鎖、学年閉鎖を経験いたしました。そんな中で、安全、学習保障、そして人権というこの三つが一番感じたところでした。その中の学習保障では、先ほどもお話にありました、タブレットを使った形での授業というのを実施し、その部分を補ったところでした。1度目の閉鎖のときには、教師が授業をしている場面を、ビデオ越しに向こうから対象の2人の子どもが見ているというふうな授業でしたが、2回目は、同時にそれぞれ3年生全員にタブレットを持って帰らせ、各家庭と学校をつなぐという形でのオンライン授業を実施させていただきました。担任が話すことで、子どもたちが向こうの声も聞こえる。同じには空間にはいませんが、同じような場所で学習が進められるという環境で授業ができました。まだまだタブレットの使い道で活用方法が多岐にわたると思います。今後いろいろなときに、活用していきたいと思います。ありがとうございました。

教育部理事

ありがとうございました。それでは次、渋川小学校よろしくお願いたします。

渋川小学校長

渋川小学校の清水でございます。本校から渋川ESD学習の取組について発表させていただきます。本校では、かねてからESDに取り組んでいます。と言うと、今年あえて発表しないといけないのかということになってしまいましたが、学校的には報告とさらに充実してきたことと手応えを感じましたので発表さ

せていただきます。

E S Dは、もう皆さん御存知だと思いますが、一昔前の古い概念の環境教育とは違います。持続可能な社会福祉に繋がる学習だと思いますが、渋川ではそれを「いいまち・しぶかわ・だいすき」と呼ばせていただいています。ふるさとから始める、ふるさとに学ぶ、ふるさとから発信することを大事にしています。繋がりということの中で強調されます。人との繋がり、自然との繋がり、暮らしとの繋がり。手応え、充実を感じたことの一つは、校内研究と結びつけた本校の子どもたちの力はあるのにそれを発信することが弱く表現することが弱いところを補っていかうといったことが一つです。先生たちも一枚岩になれたかと思います。それから、今年、実践を元にして作り直したのですが、E S Dカレンダーが完成しました。全国的な教科書もない指導書もない中で作っている。この取組は何も思いつきでやっているものではないということで、よく知らない方からすると、もしかしたら、子どもたちが「川に行っている」、「なんか作って食べている」と思われてしまうかもしれないかもしれませんが、そういうものではないということです。これがカリキュラムとして、外部の方からの支援委員会をつくってもらって、外部の声を入れています。今年、どれだけたくさんの人に会ったかわかりません。そうしてきた学びがコロナ禍で、どうしても内向き後ろ向きになりがちなところで、子どもたちがどれだけ外に目を向けることができたか、子どもたち自身が社会に働きかけることができたかということを思います。例えば、もともと子どもたちが人生の先輩から学ぶキャリア教育みたいなところから始まりましたが、それが、石鹸づくりに繋がって行って、商品として売られるような石鹸を作るところまでいきました。学校には一銭も入ってきません。だから、子どもたちのしていることは何も疑似体験ではない本当に社会に働きかけるみたいなことになってきています。今年は修学旅行で広島に行けなくて残念でしたが、この学びで新しい修学旅行先と繋がることができたので、学習としても教育としても充実した修学旅行にできたなと思います。できた石鹸については、代表の者が市長さんのところに行かせていただいて、市長さんのところで、精一杯のプレゼンをさせていただきました。お茶づくりについては、お茶づくりの近江のお茶を学ぶことによって、

甲賀の土山や朝宮の小学校、それから日野の西大路中学校これも繋がるだけではなく、それを介して合同授業を行い、これも疑似でなかったなというふうに思っています。そういう意味で、大変充実し手応えを感じた1年であったなと思っています。

この背景としては、やはり整えていただいたICT環境があったと思っています。子どもたちは本当に持続可能な社会をつくる一員でもあるし、大げさに言うと、シティズンシップ教育といいますか、場合によっては、自分たちが草津の広報担当者ぐらいの思いを持って学習に臨んでくれたと思っています。どうもありがとうございました。

教育部理事

ありがとうございました。それでは、老上小学校よろしくお願いいいたします。

老上小学校長

失礼します。老上小学校の山崎と申します。よろしくお願ひします。老上小学校の方からは、前半、今年度いただきました表彰等についてお話をさせていただいて、後半は本校で進めている人権教育の取組についてお話をしたいと思います。

まず読書活動に関わって、PTAを中心に読み聞かせのグループ「ぼけっと」というのがありまして、12年続いているというようなことで、子どもたちも毎週楽しみにしている活動の一つです。その取組が評価をいただきまして、今年5月に文部科学大臣賞をいただきました。本来なら東京の方にとということでしたが、コロナの影響もあり、教育長から表彰をしていただきました。毎週決まった曜日に読み聞かせをしていただいている他に、教室の整備や図書室を片付けていただくような活動もしていただいています。

それから二つ目は、地域の中にふれあい農業合校さんというグループがあつて、この下のところがすべてのメンバーの方です。この活動は、退職された方が農業活動を通じて、地域貢献とか子どもたちとの交流を進めていこうという取組で、20年以上続いています。その中で、それぞれの学年が畑とか田んぼとかの自然体験をさせていただいて収穫させてもらっています。今年度、田植えはコロナの感染拡大によりできませんでしたが、そのあと何とかできる体制をとということで間隔をとるよ

うな形での稲刈りですとか、それから縄ない体験とかをしていただいで、これもつい最近ですが、地域学校協働活動の推進に係る文部科学大臣表彰ということで、明日また表彰を受けさせてもらうということをお大変ありがたく思っています。

それから漢字検定につきましても、奨励賞というのをいただいでいますが、志津小学校でもありましたが、子どもたちの意欲づけというのを非常に大事にしていきたいなというふうに思っているのと、昨年度の1ヶ月前ぐらいには漢検教室みたいなものを昼休みに開いて、子どもたちにやる気を持たせていたというふうな取組です。

それから人権花運動についても3年ずっと続けていますので、いつも子どもたちも関わりながら活動をしていっていますし、意識も芽生えてきたなというふうに思っています。

それから、人権学習の取組ですが、今年度特に新型コロナウイルスの感染拡大で感染者や医療従事者に対する偏見とか差別の問題が非常に大きくなりました。私たちの方でも、学校が再開し、すぐにそういうことを未然に防止していく必要があるかなということで、担当の方が人形劇を作って、全校一斉に指導をしたり、掲示板に1ヶ月ごとにこの情報を伝えて、こんなときどうしたらいいかなというふうなことを啓発していた子どもたちに意識づけをしていたというところです。

それから、細かいところで時間がないのですが、2月に発売された、新教育ライブラリに原稿の方を送らせていただいでおりますのでもしよければまだ御覧いただけたらと思います。以上です。

教育部理事

ありがとうございます。それではただいまのグループの報告につきまして、御質問や御意見等ございましたらお願いいたします。必ず全員の方がおっしゃっていただかなくても御自由で結構でございますので、あと、参加くださっている先生方もせっかくの機会ですので、聞きたいことだったのに質問できなかったのはもったいないので、もし何かありましたらお願いします。

川那邊教育長

草津第二小学校にお聞きしたいのですが、オンラインの実践は全国でも今の段階だとトップだと思います。オンラインをや

って、先生方の反応であるとか、そういうのが少しありましたが、もう少しお話しいただければと思います。

草津第二小学校長

草津小学校さんの話もありましたが、逆に草津第二小学校としましては、状況が状況ですので、そうせざる得ない状況の中で、私たちに何ができると考えたところが出発です。その中で、やはりなかなか本校でリードできる職員もあまりいませんでしたので、その時に助けていただけたのが、教育委員会、学校政策推進課の先生方です。本当に細かな使い方から、どうしたらいいのかわからない時も、朝早くから何日も来校いただきまして、具体的に支援いただく中で、それを学ばしていただきました。やはり発信することによって、受け入れ側の子どもたちが、状況が状況ですので、もしかすると孤立感、疎外感、そして人権の意味で、今度、学校に復帰するとき心配だとかいろいろな面であると思いますが、タブレット越しに見える子どもたちの様子、そして両方交流できるようにもしていただきましたので、機械越しではありますが、お互いが交流でき、時間の共有ができたということが、大変みんなの安心に繋がり、保護者の皆様も安心してくださいました。教師の方も、それについては大変興味を持ちまして、積極的にいろいろな意味で活躍を活用させていただきまして、まず意識が変わりました。

稲垣委員

どの取組も素晴らしかったと思います。渋川小学校の取組で出口が生き抜く力になっているところが大変素晴らしいことだと思っております。それから、持続可能な社会をつくるということもキーワードとなっております、その研究の最先端に行っておられる研究のすごさにも感心させていただきました。ここには5年生のみESDカレンダーが載っておりますが、おそらく1年生から6年生までの出口に向けてやっておられますので、低では、中では、高では結構ですので、どのような目標で何をしていたのかしていたのか、簡単に結構ですので教えていただきたいです。

渋川小学校長

確かに1年生から6年生までカレンダーを別個に作らせていただいています。例えば3年生でしたら、自分たちの身近なところでどんなまちづくりがされているのかということ、みん

なにやさしいまちとはどういうものなのかというものを探っていく、あるいはそこから自分たちに何ができるか、例えば盲導犬と一緒に暮らしておられる方であるとか、電池を使っておられる方、それからいろいろな災害を経験された方とか、そういう方に来ていただくところから始めていく。それも実際、電池を作ってみたいとかそういうことは当然していくことになります。

それから、4年生ですと水の学習ですね。葉山川から始まっていき、草津の水である草津川の源流を遡っていくというところをやっていく。この水繋がりネットワークが広がっていき、同じように水を綺麗にしている、例えば高島の方であるとか、それから湖北の高時小学校の方と一緒に繋がっていくとか、そういうような、水と自分たちの暮らしは社会科とも繋がっていくことになっていきます。

同じように5年生も、草津あるいはおうみの食文化というところをやっていてそれが発展していき、今の6年生に繋がっていく形になっています。

教育部理事

ありがとうございます。では、松嶋委員お願いします。

松嶋委員

草津第二小学校のオンライン授業についてお伺いしたいのですが、僕もリモートワークで仕事していて、やはり教えることがリモートだとしづらいことだというのは感じていて、例えば、普通の教室での授業でしたら、生徒側でわからないことがあれば、先生ここがわかりませんと、気軽に相談もできると思いますが、なかなかオンラインで一人一人対応しようとする、授業が前に進まなくなると思いますし、子ども側からもそのオンラインで、要は双方向でやりとりできるといっても子どもからも発信がうまくできているのかなとか、その辺り少し興味がありまして、そういうところで事前に工夫された点とか、もしくはオンラインで授業をやってみて、今後こういうふうにしていたら双方向にうまくやりとりができるなというふうになったような点とかがあれば是非教えていただけますか。

草津第二小学校長

少なくとも、1回目のときは本当に一方通行的な授業で本当にそれを第三者的に見ている授業でしたが、2回目はもうリモ

ートの形で同時にその場で質問という形で、向こうからどんどん交流もできましたので、まさに子どもたちの声が入りながら、画面越しに学習ができていました。場所こそ違いますが、みんなが見ているというふうな環境で学習を進めることができました。ただやはり途中で少し途切れたり、環境的な部分がありましたが、この辺りは来てくださった、学校政策推進課の先生方が本当にそばで見てくださいってフォローいただいたところ
です。

小辻委員

すいません。質問というか、意見というか、私自身も大学で教員をしたり、社会活動もいろいろしているわけですが、どうしてもプログラムというのは年月が経ち作り込まれるほど素晴らしくしたいという思いが強くなり、一から育てるという思いが減ってきます。ですので、素晴らしいという部分だけじゃなくて泥臭くてもいいので、児童たちが自分たちで考えるという部分をしっかりとやっていただいて、より心に留めてやっていただけたらありがたいなというふうに思います。もうすごく素晴らしいプロジェクトで続けていただけたらということが一つ。

あとは人権に関してですが、どの小中学校さんも非常に丁寧に取り組んでいただいているかなと思います。ただ、同和問題であったり、外国人の問題であったり、高齢者の問題、様々な人権問題というのが今なおあり、それは終わってはいないということがあります。今年はコロナ禍で子どもたちにとって身近な人権を学ばれる機会が多かったようですが、以前からある人権問題も解決していません。様々な人権問題を横断的な視点から子どもたちに伝えてもらえるとありがたいです。以上です。

橋川市長

渋川小学校の体験学習や草津第二小学校に対して、オンラインで学習する相手方をどうやって開拓していくのか。かなりの時間をこれに充てていると思いますが、時間の捻出をどのようにされているのか、何か工夫されていることがあれば教えていただきたい。

渋川小学校長

確かに教員の中にコーディネーター的な役割でよく動いてく

れている者がいるのは事実です。カレンダーを作ったみたい
に、学習指導要領に定められている総合的な学習の時間とか、
生活科の時間は十分にあって、その中できちんと収められる。
逆に言うと、今までそれが十分しきれていなかったかもしれない
ところですので、このカレンダーをすることによって、この
辺の時間的なこともきちんとコントロールできているかと思っ
ています。各学年、こうやっていこうという柱みたいなもの
があり、この柱からいろいろなネットワークが出てきますので、
ここからあまり外れないようにしていくとどんどん繋がって
いく。こちらのことを勉強していったことによって、朝宮が作っ
ているというところから朝宮小学校と繋がり、もう一つの産地
が土山にあるということで、土山小学校と繋がっていきます。
ありがたいことに、どの学校も相手の方も「うちところにとっ
ても意味があることです。ありがたいです。」と言ってもらい
ながら、やらせてもらっていることが本当に私たちとしてもうれ
しく思っています。

教育部理事

ありがとうございます。では、次に進めたいと思います。南
笠東小学校からよろしくお願ひします。

南笠東小学校長

失礼します。南笠東小学校の西村でございます。今日は二つ
のことについて報告させていただきます。一つ目は、滋賀県イ
ンクルーシブ教育賞の受賞について、二つ目は、指定を受けて
取り組んでまいりました道徳教育の推進についてです。

まず一つ目についてです。令和2年度滋賀県インクルーシブ
教育賞をこのたび受賞することができました。このインクルー
シブ教育賞というのは、まだ3年目の賞ということを知りまし
た。4月でしたが、そういった県の方から、対象となる学校が
ないですかという案内が来て、私は草津養護学校との交流が、
ずっと続いているというところで、これはやはり、本校とし
て、あるいは同じ学区にある草津養護学校とともに進めてい
る、障害のあるなしにかかわらず共存していく社会形成という
部分で、うちの取組は積み上げられていたものがあるというこ
とから、県の方に申し込んだところ、審査を終えて受けるこ
とことができました。本来ですと、4年生が草津養護学校の方に行っ
て1日交流しています。自己紹介に始まり、合奏、それから歌

を歌う。うちの子はそういう形で、養護学校の小学校の方に、まずは自分たちの取組を紹介する。そして、草津養護学校の子どもたちは、それに応えてくれる子もいるし、なかなか理解してもらえない子もいますが、そういった中で、本校の方たちも、少しずつお互いに相手のことを知り、そのあと遊びを通して交流をし始めます。最初、これは子どもたちも言っていたが、自分の中でなんかちょっと怖いというイメージがあったり、どうして接していいかわからないというふうなところで、スタートしますが、本当に子どもって、自然に関わることができるようになります。帰る頃には、本当に楽しかったということで、学校へ戻ってきてくれます。今年については、コロナ禍でそういった交流ができませんでした。4年生の子がメッセージとダンスをもとにしたDVDを届けました。当日、滋賀県教育委員会の特別支援教育課の方から表彰をいただいたものです。

続いて道徳教育です。2年前は文科省の指定を受けて、今年草津市教育委員会の指定を受けさせていただいて取り組んでまいりました。考え議論する道徳ということで、教師も本当に教材研究に励むことができましたし、子どもたちが、何より、多様な意見を受け取る力、そして、なかなか教科では、自信を持って発表できない子が、自分の考えを言える力というのが身についたと思います。アンケート結果でも指定を受けた最初のころに比べると、その辺がぐんと2年後には大変伸びたという状況にあります。以上のような取組を2年間進めさせていただきました。本当にありがとうございます。

教育部理事

ありがとうございました。それでは続きまして笠縫東小学校からお願いいたします。

笠縫東小学校長

失礼します。笠縫東小学校です。昨年度から今年度にかけては、コロナ禍で例年どおりということがない2年間でしたが、ここの第1番目にありますように、例年どおりの成果を上げて、地道に子どもたちを成長させてくれました。

一つ目は、優良PTA文科大臣表彰ということで、地域と密着していることや、自然と密着してPTA活動していたことを表彰していただきました。PTAがない学校や、組織はあるけ

れどPTAと言わない学校、PTAはあるけれど市や県、全国の組織にも入っていない学校、PTAに入っているけれど加入率が少ないという学校など、全国的にはもうバラバラになってきた中で、笠縫東小学校は100%会員であり、地域と連携した取組が行われています。開校以来43年間続く学校作家の取組についても、今年度は全国児童才能開発コンテストで、全国連合小学校長会会長賞、日本PTA全国協議会会長賞という大きな賞をいただきました。今言いましたように、保護者の中にも笠縫東小出身という方がおられ、他校ではあまり見られない各家庭での会話の中に、「今どんなことやってんの」、「お父さんお母さんはそれやったらこんなふうにやってみたで」とか、そういう会話に図画工作があるということが本当に伝統であるなど思っています。

葉山川を中心とする環境学習の取組も継続ができていて、今年度は、緑の芝生を守る会というのがありまして、今年度11年目です。つまり、市役所におられる方で、大分前のことを覚えておられる方は、10年前ぐらいに草津の学校で何とか芝生をとというような働きかけがありました。今年11年目というのは、去年まで10年間だったので、県の教育功労団体として表彰を受けました。花壇とかそういうことも含めて、子どもたちも毎年、種から育てるというのは、毎年子どもたちは違いますが、自信のようなものを持って取り組んでいますし、また、地域の方も美しい花壇がある学校の校区に住んでいるという誇りのようなものを持っていただいているというふうに感じています。以上です。ありがとうございました。

教育部理事

ありがとうございます。それでは、小学校の最後です常盤小学校よろしく願いいたします。

常盤小学校長

常盤小学校の古谷です。令和2年度の学校表彰の報告と、それから今後の特徴ある取組について報告させていただきます。

常盤小学校は令和2年10月16日に長年の福祉活動を認められ、知事表彰を受けました。その活動について御説明いたします。40年ほど前から、児童が植えた水仙を学内の独居老人、あるいは障害者施設にプレゼントしています。当時は地域の方と一緒に、毎年3万個近くの球根を植えました。育って刈

り取った水仙を、その日のうちに施設やお年寄りのお住まいに届けています。今では水仙の生花だけではなく、折り紙で水仙を折ったカードを送るようにしています。カードは残しておいていただけるので、数年分を玄関に飾っていただいているお家もあります。コロナ禍ではありますが、今年も3月3日に地域の方の御協力を得て届ける予定をしています。

続いて、家庭と学校を結ぶICT活用について説明いたします。常盤小学校は、臨時休校が延長された4月9日から5日後の4月14日からオンデマンドによる動画配信を始めました。全職員が取組に参加して、メッセージや学習動画を学校再開で約70本配信しました。担任が登場し、教室の黒板の前で行う授業は、保護者の皆様から大きな反響いただきました。休校の中、どんな先生だろう、声は、授業は、と不安になっていたのは、子どもたちだけではなかったのだと改めて感じました。この動画配信がきっかけとなり、常盤小学校のホームページは、毎日のカウンターが多いときは500回。今でも平均で100回となり、家庭との双方向の関係が強まってきました。PTA総会や、学校評価など、ウェブでの回答に慣れていただいたところで、学校が積極的に取り組んでいるいじめの早期発見のためのいじめ相談フォームも開設しました。このフォームは、学校が休みや夜の間、それから休日であっても、前もって相談内容を書き込んでいただくことで、登校日の早期に対応し、解決に当たることができるものです。週末、重い気持ちで過ごすことが少しでも減るかもしれないと考えました。同じように、コロナウイルスに対する休日の連絡フォームを設定しています。こちらも報告の連絡内容が漏れないようにすることで、スムーズな連絡ができるようにしています。

最後に、ホームページではないのですが、この写真を御覧ください。これは24日に動画監修という形で行った6年生送る会の1コマです。各学年の出し物はiPadに保存して、家庭でも視聴してもらえるようにしました。これ以外を学年のまとめの学習発表などもiPadで持ち帰って一緒に視聴いただくことになっています。この1年でGIGAスクール構想が大きく進んだように、家庭と学校もICTによって結びつきが強くなったと感じています。以上で常盤小学校の報告終わります。御清聴ありがとうございました。

教育部理事

ありがとうございました。ではただいまのグループにつきまして、御質問や御意見ございましたらよろしくお願ひいたします。

橋川市長

笠縫東小学校で思ったことは、PTAの加入率が100%ということで、先ほど御説明の中にもあったようにPTA活動が困難になっていくような状況ですが、100%をずっと維持し続けての効果。かたや、維持し続けられる工夫があるのか。学校と保護者の関係において何か特徴があるのか、そこを聞かせていただけたらありがたいです。

笠縫東小学校長

特にうちの学区だけ何かをしていることはないですので、地域性というのはあると思いますが、後ろを見ると、琵琶湖まで繋がる農村地帯もあり、前を向くと、草津駅まで繋がるもう本当に都市化した状態と両方混在しているところですが、やはり各地域の自治会がまだしっかりしておられる。そして、子どもたちをスクールガードで見守ろうというような気持ちがあると、それをPTAの方も恩恵とっておられるという土壌が継続定期にできているということはすごいことだなと思います。その100%の良さは、やはり学校の先生を攻撃するというより、信頼して任せるといった土壌に繋がっているのではないかと考えています。以上です。

教育部理事

ありがとうございます。よろしいですか。他いらっしゃいますか。

小辻委員

常盤小学校のいじめ相談フォームについて質問ですが、大変すばらしい取組だと思いますが、実際にこのいじめ相談フォームができてから、良い方向悪い方向に多々あると思いますが、どんな変化があるか教えていただけますか。

常盤小学校長

このいじめ相談フォームの開設がこの1月からですが、その機会といいますのは12月に学校評価アンケートをウェブで取りました。そこで、いじめに関する相談事がありますかという項目に1件ありまして、それを確認しますと、私とか、生徒指

導のところにメールですぐ来るようになっていて、それを見て、すぐに生徒指導と相談して、明日あそこでこういうふうに対応しようということができたので、これはフォームという形で実際に使ってみようということで、開設させてもらいました。1月から実は今まで2ヶ月間1件も相談事はないですが、保護者の方もICTを使った何かすぐに相談ができるような、そういうシステムがあつたらいいなということが学校のアンケートになりますので、その一環として作っているという形です。

小辻委員

ありがとうございます。

教育部理事

では教育長お願いいたします。

川那邊教育長

同じく常盤小学校ですが、今お話にありましたが今の時代が求める課題にICTをうまく使って対応しておられるというふうに思っています。先ほどの質問と似ていますが、どのようにすれば先生がやっておられるような取組の情報が得られるのか。広く一般的にしようと思ったときに、どういうことが必要なのかっていうのを教えていただきたいと思えます。

常盤小学校長

いじめのフォームについては、たまたま学校アンケートに必ずそのことを入れましょうと市の方からの方針があつたので、それをたまたまウェブでやったことから、これは使えるなど。その前に一応iPadから相談をできるようにしたらどうかというようなことが、ずっと市の方で考えてそれも頭にあつたので、たまたまそれが複合できて、実際できたと思えます。保護者の方も非常にiPadに興味をいろいろ持っておられて「こういうふうな使い方をしてもいいですか」とか「こんなことはどうですか」とお家の方からいろいろな提案をいただいていることもありますし、例えば動画の件ですと、もともと私がそういうことに興味があつたのもありますし、先生方とも相談して、どういう形だったら、顔を出しながら、実際WEBに載せてもいいかということをお互いに相談できるようなメンバーであつたこともありますが、やはり映像処理なんかは勉強しないといけないということを思いました。いろいろな雑誌等にもあり

ますが、随分変わってくるかなと思います。

教育部理事

稲垣委員お願いします。

稲垣委員

南笠東小学校、インクルーシブ教育についてです。ICTの最先端の教育もすごく大事ですが、忘れがちなインクルーシブというのをやっていただいてありがたいなと思いました。4年生を対象にやられているとおっしゃっていましたが、相手校は大変ニーズが少ないと思います。それと、子どもたちの出会わせ方はどんなふうにされているのかを聞きたいのと、今年はコロナの関係で直接触れ合うってことは難しかったとおっしゃいましたが、私はやはり直接触れ合うことにすごい意味があると思いますので、やはり感動というか、子どもたちが直に触れ合う良さがあるので、今後もそういう触れ合いをコロナが過ぎ去った後は続けていただきたいと思います。

南笠東小学校長

こちらは4年生の子が訪問しますが、向こうは小学部の1年生から6年生まで全員の子と関わります。うちの小学校4年生の子が、グループで各教室へ行って、知的障害の子もいれば、本当に寝たきりの状態の子も関わるような、そこは草津養護学校の先生がここには何人という、クラス分けをしてくれていてそこに参加するという形です。今年はコロナでという話で、うちとしては実は直接出会うことを望んでいました。しかしながら、草津養護学校さんが今年は勘弁してほしいということで、来年以降、コロナが落ち着いていると願っておりますので、当然直接なふれあいを考えています。

教育部理事

ありがとうございます。ではお願いいたします。

松嶋委員

簡潔にいきたいと思います。まず1点、感想にはなりますが、自分の娘が笠縫東小学校に通わせていただいています、実際、小学校に入学した後から、例えばその家で絵を描いたり、家にマグウォーマーというおもちゃがあって、磁石の力でいろいろなものを組み立てるっていうような、ちょっとパズル的な要素もあるようなものがあり、そういうものを使って、自分で思ったものを作ったり書いたりして、こういうふうに工夫

したところを父親なり母親に伝えたりして、自分の考えたことを書いたり作ったりして、表現して伝えてくれるっていう力がすごい身についているとすごく身近に見ていて感じるので、今後もこの工作の活動はどんどん進めていただきたいというふうに思います。

あと、ちょうど発表内容に出てきたので常盤小学校さんお伺いしたいのですが、メッセージ動画であったり、そういった動画の配信をホームページ上でされていたようですが、これ再生数を後で見られてどうだったかなというのは確認されていると思いますがその辺りどうでしたか。

常盤小学校長

個別の動画の再生数は先ほど言いましたようにTTSになると200件ぐらいで1日500回ぐらいカウンターが回るというように多い時は、6学年のうち4学年ぐらいが更新したりするので、何度も何度も見ていただいているということがあるのでそれぐらいは確実に見ていただいたのかなと。アンケート取る度、大体前から楽しみに見えていますというのが、96%ぐらいでしたので、相当な視聴率だなと思っています。

松嶋委員

わかりました。ありがとうございます。

教育部理事

はい、ありがとうございます。それでは最後のグループの発表をお願いしたいと思います。草津中学校よろしく願いいたします。

草津中学校教頭

こんにちは、草津中学校の柴原です。よろしくお願ひします。今日報告させていただきますのは、本校の第1学年の社会科の取組での表彰、もう一つは美術部の取組に対する表彰について報告させていただきます。

まず、第1学年の社会科ですが、夏休みの課題として、私たちと北方領土というテーマの作文を書くのか、京都新聞スクラップコンクールに応募するのかどちらかの取組を自分で選んで課題にするという宿題を与えています。今御覧いただいているのは、ある1人の生徒のものですが、10枚、新聞の記事を切り取って、それから台紙にのり付けして200字以内でコメントを書くというものを10枚セットで京都新聞の方に応募する

という取組をしています。作文を書くよりもこの取組をする生徒の方が多いと聞いています。これがいただいた賞状ですが、近年は新聞を定期購読している家庭が半数を下回っているようです。全国学力学習状況調査によると、週に2日から3日以上、新聞を読む生徒の割合は2割を切っています。本校ではスクラップコンクールだけではなくて、新聞記事を用いた教材を開発したり、うちの学校に来ていただくと御覧いただけますが、廊下に新聞記事を教員が切り取っていろいろなところに貼らせていただいています。そういうような活動をしながら少しでも子どもたちに関心を持っていただくというふうに考えた取組をしています。

続いて、美術部です。「自分の思いを込めて作品と向き合うこと」そして「自分にしかない表現を目指すことを協力して制作し完成させること」などを大切にしながら活動をしています。それぞれ透明水彩、不透明水彩、油彩の3つの専門画材に分かれて制作を行っています。専門画材の先輩が後輩への指導を行い、生徒たちで活動できるような環境を整えています。これは実際の作品ですが、ミーティングを重ねながら、挨拶や礼儀の大切さなど、部活動の中で学べることを部員全員が意識をしながら活動をしています。個人の制作では、専門的な話ですが、25から35のキャンバスを使用し、作品が完成した後に合評会を行い、全員で論評し合うことで、互いの技術や鑑賞力の向上を図っています。御覧のように、個人制作だけではなく、全員で共同制作に取り組み、協力しながら部員全員で作りあげていく部活動を目指しています。これが全国の表彰で一番良かった賞をいただきました。これは入選作品です。最後になりますが、草津市の方から依頼をされて、青少年美術展覧会の玄関のところに置かれる看板を今度、美術部が依頼をされて、作ってくれた作品を最後に載せておきました。以上です。ありがとうございました。

教育部理事

ありがとうございました。それでは最後の発表です。新堂中学校よろしく願いいたします。

新堂中学校教頭

失礼します。これより新堂中学校の発表させていただきます。なお、校長が他の校務のため、北村が代理で御報告させて

いただきます。

本校は今年度、「高め合い、支え合える仲間ともに学びともに行動」をスローガンに掲げ、道徳教育の改善充実を中心に据え、学力向上、人権教育、仲間づくりの三本柱を大切にしながら、全教職員が一体となって取り組んでおります。本日はその中の仲間づくりのこととして、部活動の活躍の様子、それから、全校道徳の取組、この2点について御報告させていただきます。

まず、この夏は、3年生は大会がありませんでしたが、陸上だけは通信陸上という形で大会が行われましたので、そのときの活躍の様子です。この生徒は川那部佳乃といいまして女子の砲丸投げで県3位になりました。この子は3年間活動していましたが、1度も表彰台に登ることなく最後の大会でやっと3位に入れたというふうに、努力を積み重ねてがんばってくれました。この生徒は2年生の津田和輝でございます。円盤投げで優勝しております。2位の子と実力差がありますので今後、近畿、全国と活躍してくれるものと信じております。3人目ですが、女子800メートルで1位となりました。山本朱実令でございます。この生徒は中長距離を得意としています。また、中学校に入ってから陸上を始めたので、タイムが走る度に伸びるという形で、今後の活躍は、津田とともに期待できる生徒でございます。その他の運動部、文化部ともにいろいろ活躍しております。活気ある学校づくりのために中体連秋季総合体育大会終了後、部活部長、キャプテン会議等を行い、3年の夏に向けての短期、中期目標をまず各部で話し合っ、それを教室掲示、廊下掲示するなど、部活動を通じた仲間づくりの仲間づくり活動の様子について、掲示ながら士気を高めているところでございます。

次に2点目ですが、全校道徳劇の取組についてでございます。本校は、南笠東小学校と同様、令和元年度文部科学省、道徳教育の抜本的改善充実に係る支援事業の指定に続き、今年度草津市教育委員会、道徳教育の授業力向上事業の指定をいただきまして、道徳教育の実践的な研究を推進してまいりました。

その中で、新堂中学校の生徒会執行部が、この9年間継続して取り組んできました全校道徳劇を上演し、感想を書かせるだけではなく、道徳劇にかける生徒の思いを大切に、全生徒が

学ぶ意欲を高め、豊かな人間性を育むことを目的とし、この道徳劇を教材として道徳科の授業を行うことにしました。このときの道徳の劇の様子です。ちょっと30秒見ていただきます。

(ビデオ視聴)

このように、新型コロナウイルス感染症予防のために休校措置がとられたため、本来であれば4月に全校の前で発表すべきものだったのですが、それができずに、また、稽古もできなかったのもあって、上演が延期、さらに全校の前での上演できないこともあって、8月の夏季休業中に無観客でビデオ撮りをするようになりました。それで、このシナリオをもとに校内意見で、研究主任が模擬授業を行う形で指導案を検討しているところの様子です。それを各学級で道徳の授業として、全校道徳の映像を使い授業を行いました。これはその時の様子です。道徳の授業として各担任が指導案、板書企画等の準備をし、しっかりと授業を行いました。他の教材とは違いまして自分たちが作った教材ですので、1人1人に対する生徒の思いが強いため、生徒が学ぶ意欲を高める効果があり、人間性を育むことができたかなと思っております。新堂中学校は、来年度も道徳教育の改善充実を中心に据え、わかる授業、楽しい授業に繋がるよう学校づくりを目指していきます。これで新堂中学校の報告を終わります。

教育部理事

ありがとうございました。ただいまの2校につきまして、御質問、御意見等ございましたらお願いいたします。はい、お願いします。

松嶋委員

感想という形でお伝えしていきたいと思いますが、まず草津中学校の方の新聞のスクラップ。これはすごくいい取組だなと思ひまして、例えば今後、タブレットも配付されてきたことで、こういうのを生徒個人でアップロードした上で、各生徒が見て、「いいね」とか今の中学生とSNSとかも非常に使われていると思ひますので、いいと思ひた記事に印をつけたりとかで、自分のこうした記事が評価もらっているかというのを見える化していくのも一つのアイデアなのかなと思ひますし、それをうまく個人の承認要求を利用してではないですが、どんどん自分から積極的にしていくっていうような体制を作っていくの

も一つなのかなというふうに感じました。こういう新聞のスクラップを作って、どんどん知識もつけて、みんなに教えていくような活動も今後も継続して欲しいというふうに思います。

あと、新堂中学校の方でお伺いしたかったのが、これだけやはり運動部の方でいろいろな表彰されていますが、何か学校の方でこういうふうに活動をサポートしていますという学校独自の取組があれば是非教えていただけたらばなというふうに思いました。

新堂中学校教頭

本校は、草津市内で一番生徒数の少ない学校ですので、本来であれば、そんなに活躍できないかなというふうに思っているのですが、まず、職員が部活動の時間に全員が関わるという形をとって、放課後の時間に職員室にいるのは私と事務職員だけという感じです。そういった中で本当に子どもたちにやらせるのではなく、自主的に取り組んでいるということ、それぞれ自分たちで目標立てて、それを結果としてもう求めていくというスタイルをとってくれているので、秋の大会結果こそ、今回もコロナの影響で最後までできませんでしたが、ほとんど初戦敗退はなかったです。それぞれがまた来年の夏に向けて目標を持って今一生懸命、基本から取り組んでいるというところですので、特に変わったことをしているとかいうことではないです。ただ後に紹介した2人の能力かなり高いですので、期待できると思っております。以上です。

松嶋委員

わかりました。よく報道で行き過ぎた指導が原因でどうこうというような報道も見たりするので、そういった形でなくて本当にもう生徒の方からそういうふうに目標を作ってがんばられているということなので、今後もそういう方針で続けていて欲しいなと思います。ありがとうございます。

教育部理事

教育長お願いします。

川那邊教育長

部活に対して職員が一丸となって、指導している、取り組んでおられるということを知ってこれはすごいなというふうに思いました。同じように、道徳は2年間の研究指定が、文科省から出ていて1年はコロナでなくなって、それでも県の指定を受

けて、今年まで2年間やられたわけですね。一応、区切りなわけですが、ここでやめることもできますよね。

新堂中学校教頭

はい。

川那邊教育長

やめることもできるのに、さらに2年間という話がありましたが、これはどういう経緯でしたか。先生から言われたのでしょうか。その辺を教えてください。

新堂中学校教頭

実はあと1年させていただくということになりましたが、他の教科の研究指定を受けると、どうしても教科に偏りができてしまいますが、道徳に限っては全員が関わるので、一丸になって、職員間がすごくまとまりました。それにすごく意義を感じて、しかも、去年全然できなかつたことが、今年子どもたちの反応が変わってきて、道徳の授業力を高めたことによって、他の教科の授業にもアクティブラーニングであるとか、ハイブリット型の授業とかが活かされるようになってきて、教科にまで波及してきたということと、お金が使えなかったということもあって、もう1回国からという思いもありまして、管理職の方からしたいと言ったわけではなく、学年主任とか、研究主任あたりの職員が、是非もう一度やりたいというふうな声が上がってきたということで、それなら受けようということで、本校としては、来年度で3年間のまとめの年にしたいなというふうにして、是非全国に発信したいというふうには今は思っております。

川那邊教育長

ありがとうございます。

教育部理事

先生方からももし何かあればどうぞ。お願いします。

稲垣委員

中学校ならではの御提案だと思ったのは、部活動でスポーツも大変すばらしい取組だと思いますが、草津中学校の方に質問ですが、美術のすばらしい作品を作られるお子さんたちも3年生終わっての進路。普通科を選ばれるのか、そういう美術に特化した高校へ進学されるのか、そういう方向性というのはあまり関係ないですか。

草津中学校教頭

1人1人の状況をすべて知っているわけではないですが、美術系の進路に進まれない方が多いというふうに思います。今日は美術部の発表でしたが、要は、美術ということを通して、人間教育をどの部活動もしていると思います。そういう意味では、美術部で学んだことを高校から進んでいく中で、いろいろなところで生かせる力量をつけてくれていると思います。

教育部理事

お願いします。

小辻委員

両方ともすばらしい報告ありがとうございました。京都新聞のスクラップコンクールに関して質問です。これだけたくさん応募されているので、逆に京都新聞の方を呼んで、どんな感じで新聞を作っているとかそういう話も聞いてもらうことも面白いと思いました。何かそういう新聞とかも含めてですね、作り手から話を聞く、作り手というよりかは伝え手かもしれませんが、そんなことも考えておられるかせっかくなので聞かせていただきました。

草津中学校教頭

現状は多分できないと思いますが、今おっしゃっていただいたことを参考に、学校の方に持ち帰りたいというふうに思います。

橋川市長

すばらしい発表をしていただいたと思いますが、こういう成果というか、一生懸命やったものが、今日はこうやってすべての校長先生も共有化できたというふうになりますが、外に向かって、子どもの励みにもなると思うので、それをどうやって発信していくのかというところを、さらに工夫していただいて、アピール効果を教育に生かしていくような、そういう取組も是非お願いしたいと思います。

教育部理事

ありがとうございます。それではそろそろお時間もまいっておりますので、閉会の方に向かっていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

大変ありがとうございました。発表も質疑応答も大変時間を気にしていただきながらで申し訳ございませんでした。

それでは、全体を通しての講評に移りたいと思うのですが、

まず教育長からお願いいたします。

川那邊教育長

今日発表していただきありがとうございました。校長先生、教頭先生の説得力のある報告をお聞かせいただきまして、さすが草津の校長先生、教頭先生だなというふうに思いました。残念ながら今日この場で発表いただけなかった学校においても、すごい実践があるということを伺っておりますので、またいろいろな機会を利用して聞かしていただければと思っております。

教育委員会では、特に私の方から、全国に誇れる実践という言葉の前々からかけさせていただいております。この意味は、質の高い実践を重ねようということですね。全国に誇れるというのは自慢ではなく、全国に誇れる、全国に認められる、質の高い実践をということが一つであります。これからも子どものために質の高い実践を重ねて欲しいということが1点です。

そしてもう一つ全国に誇れる点はですね、今、市長の方からありましたように、発信をすることによって地域や市民への理解をさらに得られるようになるということです。このことは今の時代のマネジメントの基本であり、発信というのはマネジメントで大切されることの基本であります。校長先生方は、このことを御存知ですので、草津では他市町よりも積極的な発信に努めていただいております。さらに言うならば、県や全国へ発信することによって、草津から教育の質を高めていこうと、そういう思いがあります。私は滋賀県では、大津は中核市ですので別格として、この草津は、もっともっと滋賀県の教育を引っ張っていく役割を担っていかなければならないのではないかなと思います。今も当然、そういう思いで校長先生方がやっただけに思いますが、さらにこういう機会を通じて、お互いに交流しながら、滋賀県を引っ張っていける力を磨きたいというふうに思っています。以上です。

教育部理事

ありがとうございます。それでは最後に橋川市長から講評に併せまして閉会の言葉をいただきたいと思います。お願いいたします。

橋川市長

本日、各校長先生の方からすばらしい発表をしていただきま

してありがとうございました。それぞれの学校の特性、特徴を捉えてそれをより高めるような取組をしていただいています
が、こういうところでの発表でございますので、それぞれの学校の良いところを自分の学校に是非取り入れるところを取り入れていっていただきたい。また、草津市全体の教育力を高め
て、子どもの輝く教育がより一層、進むことを願っているところ
でございます。また、教育委員の皆様からは貴重な御意見を
いただき、また御助言もいただいてありがとうございました。

なお、平成29年度から、この総合教育会議の場でこうした
各校の取組の発表していただいています、少しの学校はまだ
発表をされてないところがございますので、来年を楽しみにも
しているところでございます。どうぞよろしくお願いを申し上げ
ます。

以上で令和2年度第2回目の草津市総合教育会議を閉会させ
ていただきます。どうもありがとうございました。

閉会 午後4時45分